

技術開発への取り組み

～研究センター「クリモト創造技術研究所」から始まる新技術～

2007年春、研究センター「クリモト創造技術研究所」が完成します。ここからクリモトの技術開発は新たなステージに突入します。新研究施設では、社内・グループ内との連携はもちろん、各大学や他企業の研究開発機関との連携を図りながら、技術開発のレベルアップ、スピードアップに注力していきます。

トランスヒート

廃棄物焼却施設などから発生する低温廃熱（200℃以下）を回収・運搬、熱エネルギーとして供給する潜熱蓄熱搬送システムです。未利用エネルギーの活用とCO₂の大幅な削減が見込まれ、環境省「地球温暖化対策技術開発事業」として実証試験を2004年度から開始しています。



クリモト創造技術研究所

2007年春、住吉工場内に新研究所が完成します。社内外の技術情報はここに集約され、最新の研究に取り組みながら、様々な部門とのコラボレーションが誕生する場です。

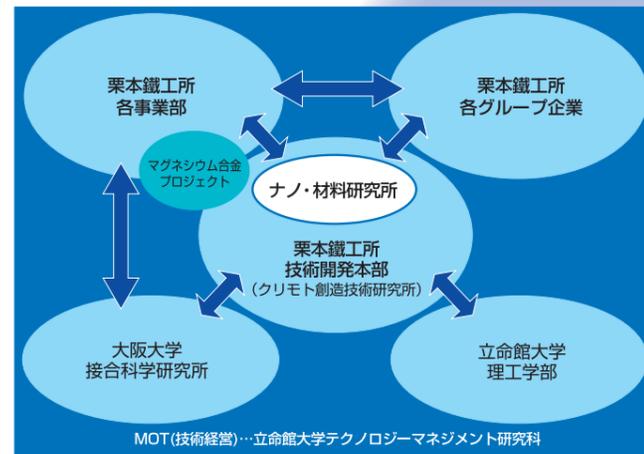
鉛フリー銅合金「クリカブロンズ」

ナノ・材料研究所の開発第一号として誕生したクリカブロンズ。加工性に優れ、耐圧不良に強く、また人体に有害な鉛を含有しない銅合金です。現在、クリモトグループの水関連分野で採用実績を積みながら、他分野への用途開発を進めています。



燃料電池小型移動体

燃料電池とは、水素と酸素の反応により発動するシステムです。クリモトでは、燃料電池を車いす、シルバーカーといった小型移動体に応用することで、高齢社会における活動的な社会構築に貢献していきます。



産学連携

大阪大学とのナノ・材料研究やマグネシウム合金開発、立命館大学とのバイオ関連研究など、今後のコア技術の拡大を目指した産学連携の協同開発体制を構築していきます。

ナノ・材料研究所

ナノテクノロジーの視点を取り入れた新材料を開発する「ナノ材料チーム」と、新しいナノ粒子プロセスを開発する「ナノ粒子チーム」という2つの研究グループが両輪となり、ナノテクノロジー技術の革新的製造プロセスの開発に取り組んでいます。

